

「東日本大震災における造成宅地被災の対策事業を考える談話会」 開催のお知らせ

趣旨：東日本大震災における仙台市内の造成宅地の被災は甚大でした。国の事業「造成宅地滑動崩落緊急対策事業」および仙台市の東日本大震災被災宅地復旧工事助成金制度に基づいて、調査、対策工法の選定が実施されています。行政、住民、関係する多分野の専門家が一堂に会して、本事業に係る制度および対策工法の意義を正しく理解し、造成宅地の耐震化に向けて、関係者が相互理解を深めることが必要になっています。昨年の開催に引き続き、今年度も東北学院大学土樋キャンパスを利用して、相互理解を主たる目的とする談話会を開催します。どなたでも参加できます。あらかじめ地盤工学会東北支部に参加の連絡をいただければ幸いです。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日時：平成24年10月28日（日）13：00より17：30

会場：東北学院大学土樋キャンパス（本部）8号館5階 押川記念ホールおよび8号館会議室
（添付資料を参照ください）

主催：公益社団法人地盤工学会東北支部，社団法人日本地すべり学会東北支部，
公益社団法人土木学会東北支部

後援：仙台弁護士会，宮城県建築士会，日本技術士会東北本部，東北学院大学，仙台市

参加費：無料

参加者：どなたでも参加できます。参加ご希望の方は、下記の公益社団法人地盤工学会東北支部に、別紙の申込書に記入の上、事前連絡ください。当日も参加受付しますが、予定数（300名）を超えた場合には入場をお断りする場合があります。駐車場は利用できません。**公共交通機関を利用してご出席ください。**

公益社団法人 地盤工学会東北支部（担当：須藤 良清）

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 17-21 北四ビル 2F

TEL：022-711-6033

FAX：022-263-8363

E-mail: jgsb-th@tohokushibu.jp

談話会実施概要：当日、受付にて、詳しい次第書、講演資料を配布します。

＜全体での討議＞13時から15時半

宅地被災対策事業についての現況の把握に関する話題提供と討議

1. 造成宅地被災の対策事業の現状と今後の予定（仙台市宅地復興部部長 佐藤良一）
2. 対策事業の基本的考え方と具体的工法の説明（東北学院大学教授 吉田望）
3. 宅地を強くするために何が必要か：公助と自助（東北工業大学教授 今西肇）
4. 大災害に対する法的整備の必要性、行政への要望（仙台弁護士会，千葉晃平）

※以上の題目は当日変更になることがあります。

＜地区ごとの談話会＞15時45分から17時半

地区ごとに分かれて、より詳細な討議を行います。対策事業に対する質問や意見について関係者、地盤、建築、法律等の専門家が回答し、議論を重ね、対策事業に対する相互理解を深めることを目的とします。活発なご質問、ご意見をお待ちしております。住環境の再生に向けて有意義な議論ができればと思います。



東北学院大学 土樋キャンパス案内図

仙台駅より徒歩 20 分
 仙台市地下鉄五橋駅あるいは愛宕橋駅より徒歩 5 分

正門を利用して入場ください。

左の図の矢印が正門の位置です。
 下の図は、上の図の矢印から見た絵となります。

土樋キャンパス

TSUCHITOI CAMPUS

歴史を感じさせる土樋キャンパス。
 東北学院大学は、ここから始まりました。
 静かな住宅街の中で
 アカデミックな雰囲気がたどようキャンパスです。

CAMPUS DATA

文学部	専攻コース	3~4年次
	夜間コース全学年
経済学部	3~4年次
経営学部	3~4年次
法学部	3~4年次



土樋キャンパス 8 号館の 5 階が押川記念ホールです。エレベータを利用してください。

分科会は、8 号館の 3 階の会議室などを利用します。

日曜日ですので、こちらの正門を利用して、入場ください。

